



2017年2月期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス

(3063)

2017年4月19日



1. 連結決算概要

決算ハイライト	-----	4
連結損益計算書概要	-----	5
連結貸借対照表概要	-----	6
連結キャッシュ・フロー計算書概要	-----	7
セグメント別業績概況	-----	8
飲食事業の業態分析	-----	9

2. トピックス

既存店売上高は堅調	-----	11
人件費の高騰	-----	12
名古屋駅前に 「Boca プロジェクト」オープン	-----	13
その他の新規出店	-----	16
店舗数の推移	-----	17
既存店収益状況	-----	18

3. 今後の取り組み

現状の課題	-----	20
課題を解決する「非常識への挑戦」第2弾	-----	21
名古屋 100 店舗計画	-----	22
個店主義からエリア経営へ	-----	23
人材確保へ向けた施策	-----	25
今後の新規出店・リニューアル予定	-----	26
今期の業績見通し	-----	27



1. 連結決算概要



- 1 売上高は過去最高を更新**

連結売上高は前年同期比 103.9% の 14,357 百万円となり、過去最高を更新。
- 2 過去最大の大型店舗を出店**

約 400 坪、約 400 席の過去最大の大型店舗「La Boca Centro / La Boca Chika」をオープン。
- 3 大型店出店費用・人件費増で減益**

連結営業利益は前年同期比 74.8% の 53 百万円となり、前期と比較して若干の減益。

連結損益計算書概要



	2016年2月期 通期		2017年2月期 通期		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	13,823	100.0	14,357 ①	100.0	103.9
売上原価	4,315	31.2	4,605 ②	32.1	106.7
売上総利益	9,507	68.8	9,752	67.9	102.6
販売管理費	9,435	68.3	9,698	67.6	102.8
営業利益	72	0.5	53 ③	0.4	74.8
営業外収益	111	0.8	123	0.9	110.8
営業外費用	111	0.8	116	0.8	104.4
経常利益	72	0.5	61	0.4	84.8
特別利益	—	—	99	0.7	—
特別損失	194	1.4	118	0.8	61.0
税金等調整前当期純利益 または純損失	△122	—	42	0.3	—
当期純利益 または純損失	△232	—	△83	—	—

- ① 売上高は前年同期比 103.9% となり過去最高の売上高を達成。
- ② 飲食事業単独での原価率は 27.6% となり、原材料価格の高騰の中、原価低減策の進捗により 0.1 ポイントの低下
- ③ 人件費の高騰、および大型店舗「BOCA」のオープン経費の影響が大きく、不動産の売却益で上積みするも減益

連結貸借対照表概要



(百万円)	2016年2月期 期末	2017年2月期 期末	(百万円)	2016年2月期 期末	2017年2月期 期末
資産の部			負債の部		
流動資産	1,051	1,500	流動負債	2,571	2,960
現金及び預金	289	749	買掛金	412	498
売掛金	335	322	短期借入金 ※	984	1,135
たな卸資産	96	118	その他	1,174	1,326
その他	329	309	固定負債	3,826	4,015
固定資産	7,115	7,140	長期借入金	3,361	3,386
有形固定資産	5,564	5,594	その他	465	628
建物及び構築物	3,084	3,379	負債合計	6,398	6,976
土地	1,774	1,623			
その他	705	591	純資産の部		
無形固定資産	40	27	株主資本	1,812	1,705
投資その他の資産	1,511	1,519	資本金	1,068	1,068
繰延資産	2	1	資本剰余金	998	998
資産合計	8,169	8,642	利益剰余金	△179	△286
			自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△47	△42
			新株予約権	3	3
			純資産合計	1,771	1,666
			負債純資産合計	8,169	8,642

※一年内返済予定長期借入金含む

連結キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)

	2016年2月期 通期実績	2017年2月期 通期実績	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	511	1,258	税金等調整前当期純利益 42万円 減価償却費790百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,036	△870	新規出店等の設備投資による 有形固定資産の取得 1,051百万円 差入保証金の差入33百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	65	72	長期借入れ1,889百万円 長期借入金の返済1,672百万円
現金及び現金同等物の増減額	△459	459	
現金及び現金同等物の期首残高	749	289	
現金及び現金同等物の期末残高	289	749	

セグメント別業績概況



(百万円)

		2016年2月期 通期実績	2017年2月期 通期実績	前年同期比 (%)	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	12,426	12,686	102.1	売上高は堅調に推移したが、大型店舗「BOCA」のオープン経費、人件費の高騰により減益。
	営業利益	635	482	76.0	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	1,811	2,163	119.4	東京支社のjGroup西麻布ビルを売却したことにより、売上高、利益ともに大幅に増加。テナント収入も引き続き堅調。
	営業利益	154	274	177.5	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	828	785	94.9	名古屋駅前の工事による景観悪化の影響は徐々に薄れ、施行組数は前年同数で推移し、今後回復の見込み。
	営業利益	28	22	79.9	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	924	949	102.7	飲食事業の売上増加に加えて、シルク・ドゥ・ソレイユの公演等もあり、売上高・利益ともに増加。
	営業利益	38	50	131.9	
調整額	売上高	△2,166	△2,226	—	
	営業利益	△784	△776	—	
連結財務諸表 計上額	売上高	13,823	14,357	103.9	
	営業利益	72	53	74.8	

飲食事業の業態分析



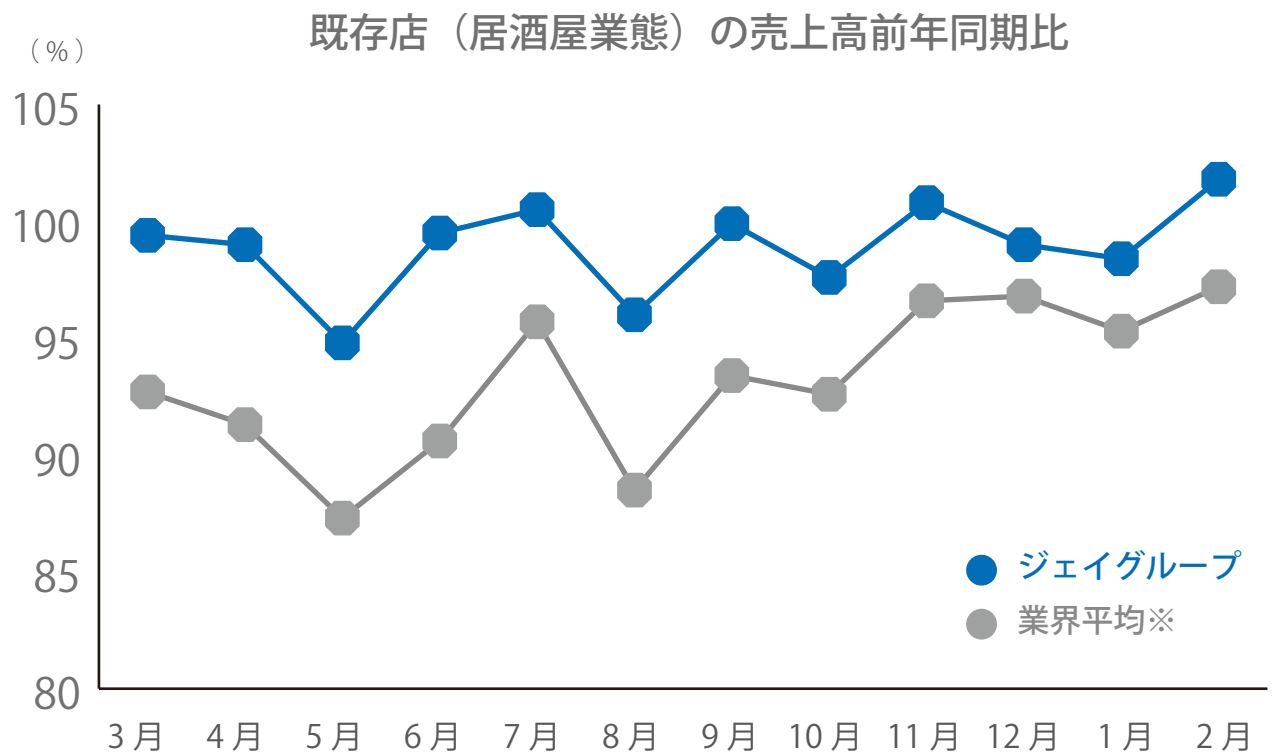
(百万円)

		2016年2月期 通期実績	2017年2月期 通期実績
居酒屋業態	売上高	9,504	9,962
	営業利益 (本部経費配賦前)	1,289	1,172
レストラン業態	売上高	1,626	1,648
	営業利益 (本部経費配賦前)	101	81
カフェ業態	売上高	1,076	855
	営業利益 (本部経費配賦前)	△60	△30



2. トピックス

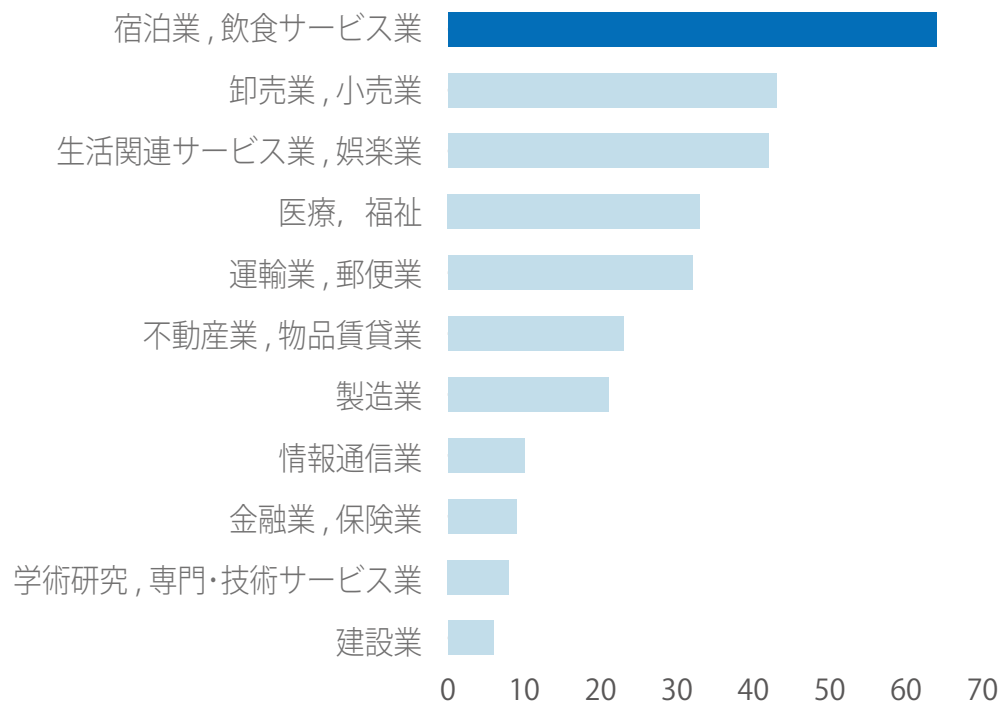




※出典：日本フードサービス協会

居酒屋業態の既存店の売上高前年同期比は、通年で業界平均を上回っており引き続き堅調。一部のカフェ業態およびSC店舗における不調をカバーし全体での増収達成に貢献。

ー 産業別パートタイム労働者過不足判断 D.I. ー



出典：厚生労働省「労働経済動向調査（平成 29 年 2 月）の概況」
※「不足」－「過剰」ポイント

飲食サービス業の
人手不足は突出

優秀な人材確保のため
給与制度を改革

アルバイト確保のため
時給水準が上昇

飲食サービス業の労働者不足は他の業種と比較しても突出している。店舗運営のために人手確保は最優先課題であり、正社員・アルバイトともに待遇を改善。

アルバイトの時給水準上昇、給与制度改革により人件費が上昇

名古屋駅前に「Boca プロジェクト」オープン①



約
400
坪

約
400
席



約
4億円
の投資額

4店舗

独自の通貨システム

入場時に入場料とともに独自通貨の「BOCA」を購入して頂く。
非日常感の演出に加えて、独自通貨とすることで様々なイベント
にも活用し、エンターテイメント性を高める仕掛け。

多数のメディア掲載

Tokai Walker
毎日新聞
食品新聞

KELLY
中日新聞
TV取材等

名古屋駅前に「Boca プロジェクト」オープン②



La Boca Centro (1F)



バルセロナにおいて世界規模で空前の人気を博すガストロノミー「EL NACIONAL」とのフレンドシップにより生まれるグランドスペインバル。BAR ブースでは世界一と言われる「BOCA GRANDE」のジントニックを再現。DJ ブース、VIP ルームなどを配置。



スペイン料理と BAR をジェイグループが提供。フレッシュオイスターと新鮮なシーフードを株式会社ゼネラルオイスターが提供。

名古屋駅前に「Boca プロジェクト」オープン③



La Boca Chika (B1 F)

ベジロカ



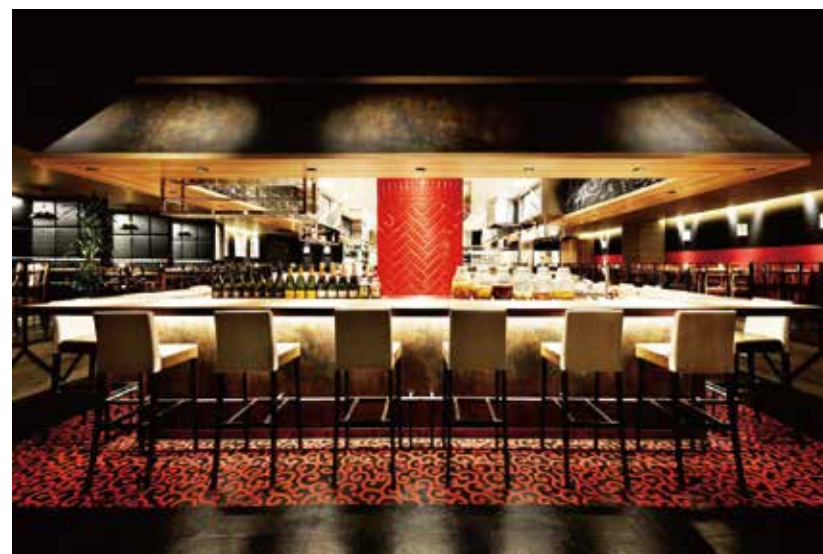
がブリチキン。



mitsubachi



MARU



オール名古屋の「食」のスペシャリストが集結する地下フードスタジアム。今、名古屋で最も魅力的で元気な4社「ベジロカ」「がブリチキン」「mitsubachi」「MARU」が軒を連ね、同じ場所でこれらの味を一度に味わえる贅沢な空間を提供。

その他の新規出店



3月



3月1日オープン PIT TAVERN 栄店



3月24日オープン 芋蔵 四日市店



3月24日オープン tantan 四日市店



3月31日オープン ほっこり バンコク

4月



4月22日オープン 献



4月27日オープン 四七四七につぽん 名駅店



4月29日オープン 芋蔵 姫路店

5月



5月17日オープン 四七四七につぽん 刈谷店



5月26日オープン 串星

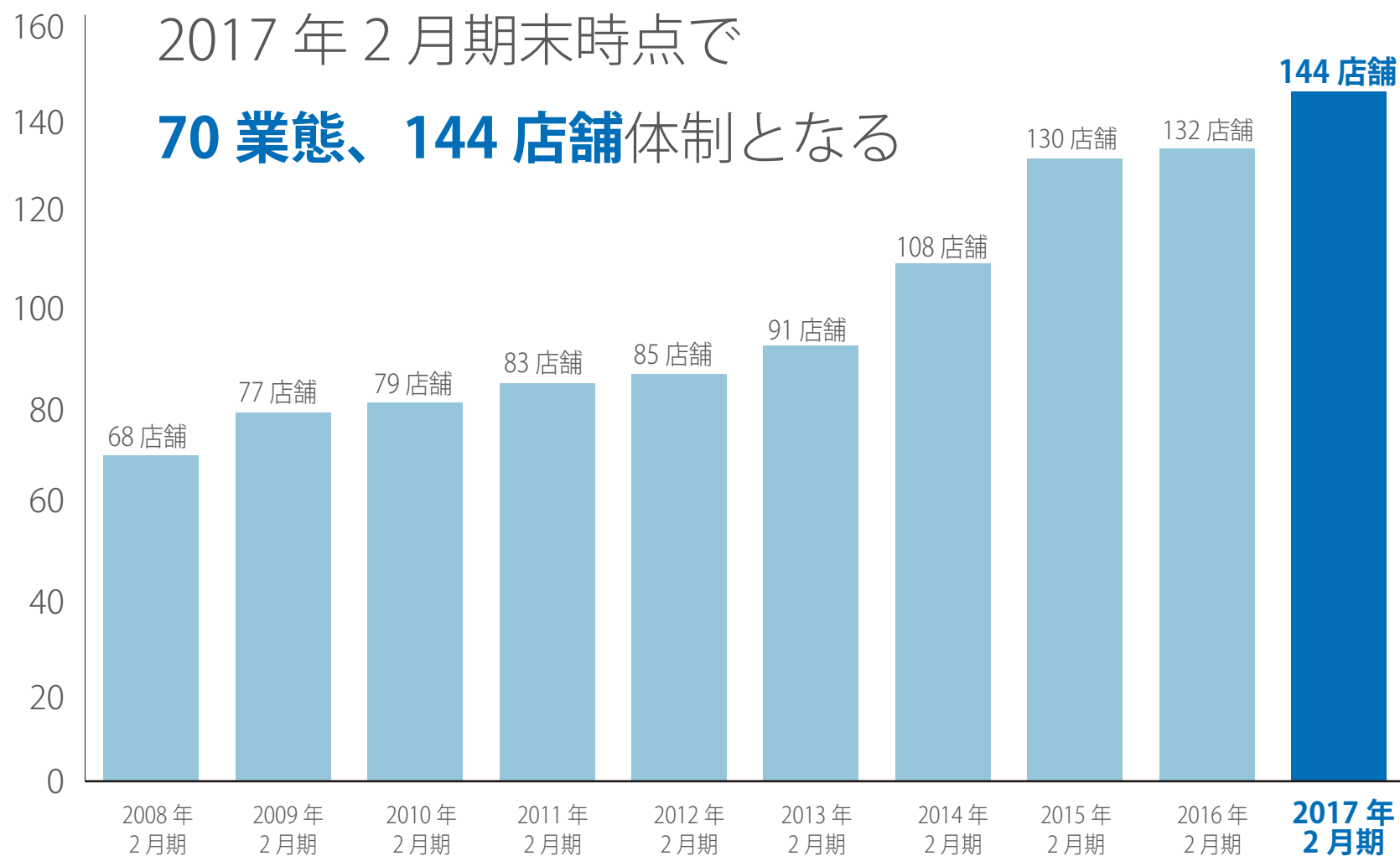


5月26日オープン 吟醸マグロ

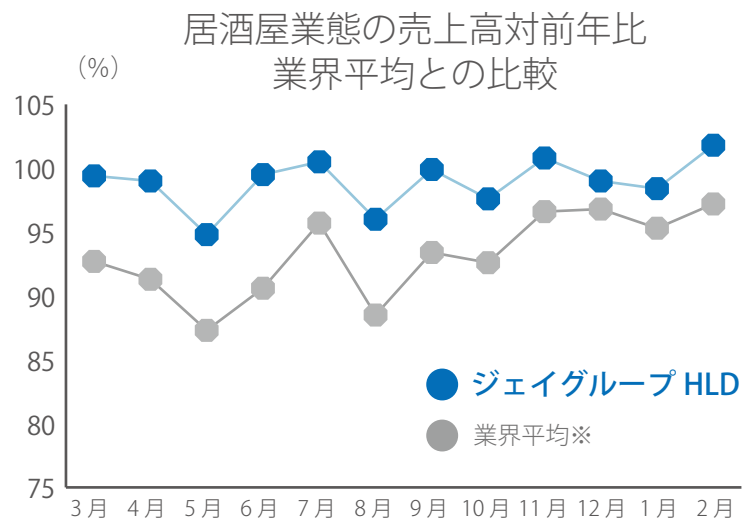
1月



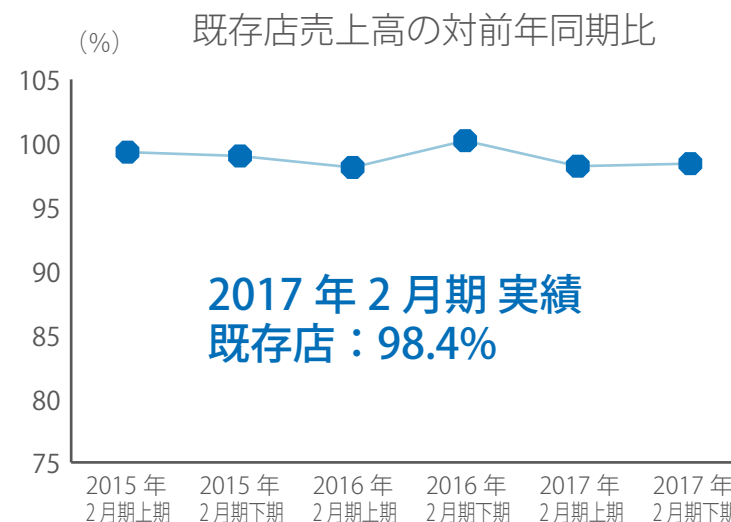
1月24日オープン IKE 鶏 (イケドリ)



既存店収益状況



※出典：日本フードサービス協会



		2016年										2017年		2017年2月期 実績
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	99.4%	99.0%	94.8%	99.5%	100.5%	96.0%	99.9%	97.6%	100.8%	99.0%	98.4%	101.8%	99.0%
	来店客数前年同月比	97.1%	96.6%	93.4%	98.5%	99.6%	95.9%	100.4%	97.1%	100.2%	99.0%	97.4%	100.3%	97.7%
	客単価前年同月比	102.4%	102.5%	101.5%	101.0%	100.9%	100.1%	99.6%	100.5%	100.6%	100.0%	101.0%	101.5%	101.2%
レストラン業態	売上高前年同月比	96.7%	105.8%	103.9%	104.0%	104.7%	92.5%	93.4%	100.9%	92.6%	98.0%	99.1%	89.8%	98.3%
	来店客数前年同月比	98.6%	103.6%	105.8%	108.6%	109.4%	98.5%	98.3%	101.0%	95.8%	102.8%	97.8%	90.3%	100.8%
	客単価前年同月比	98.0%	102.1%	98.2%	95.8%	95.7%	93.9%	95.0%	99.9%	96.6%	95.3%	101.4%	99.4%	97.6%
カフェ業態	売上高前年同月比	91.4%	90.5%	91.3%	90.6%	90.4%	88.8%	86.6%	92.0%	88.5%	94.3%	91.5%	87.3%	90.1%
	来店客数前年同月比	87.1%	88.1%	88.3%	89.7%	93.2%	90.0%	86.5%	89.3%	87.2%	91.4%	89.9%	85.6%	89.1%
	客単価前年同月比	104.8%	102.8%	103.3%	101.0%	97.0%	98.6%	100.1%	103.0%	101.5%	103.2%	101.8%	102.0%	101.1%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。



3. 今後の取り組み



1 名古屋でのグループ知名度の活用

試験的に行った店舗間の送客プロモーションにおいて、ジェイグループのお客様は、同じ地域のジェイグループ店舗を回遊して頂いている実態が判明。

今まで行ってこなかった、グループを前面に出した施策を行うことで、名古屋における更なる売上高・利益の向上が期待できる。

2 終わりのない人件費高騰への対応

生産年齢人口の減少、2018年問題、若者のサービス業離れなど飲食業界における人材確保という観点で、プラス要因はまったく無いのが現状。

正社員比率 No.1 を掲げるジェイグループにおいても例外ではなくアルバイトも含めた人材配置の最適化が必要。

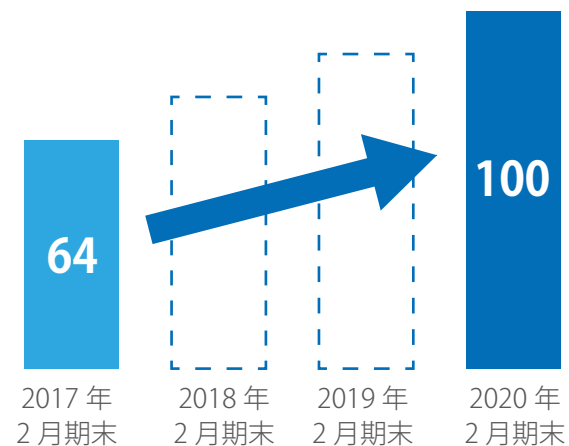
名古屋 100 店舗計画

個店主義からエリア経営へ

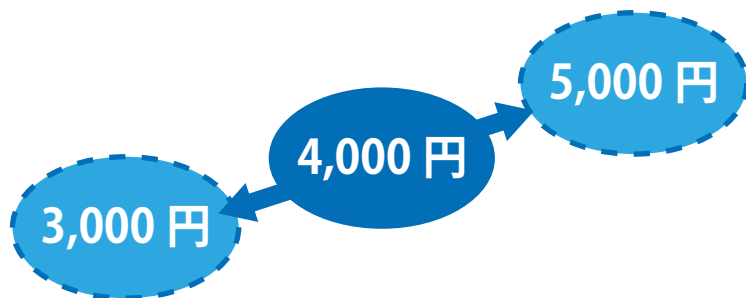
① 名古屋市限定の超ドミナント出店



② 2020年2月期末に100店舗達成

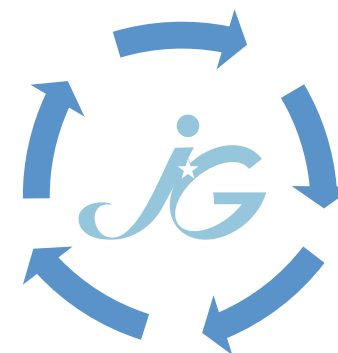


③ 価格帯ラインナップの拡大



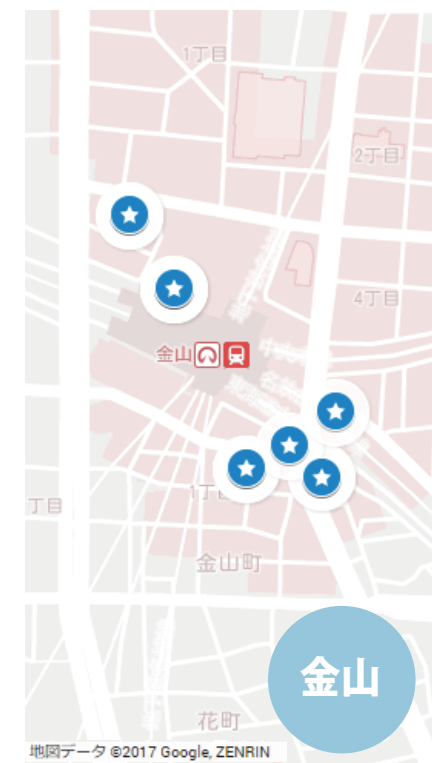
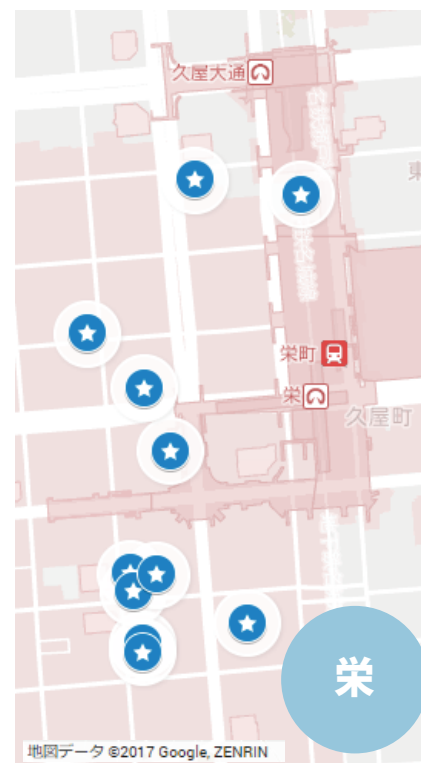
芋蔵を代表とする客単価 4,000 円台から、あらゆる客層を取り込むために、3,000 円台のカジュアル業態や 5,000 円以上の高単価業態などへ価格帯を拡大

④ 回遊性を高める施策を実施



グループ間の回遊性をさらに高めるポイントプログラム等の施策を9月までに実施

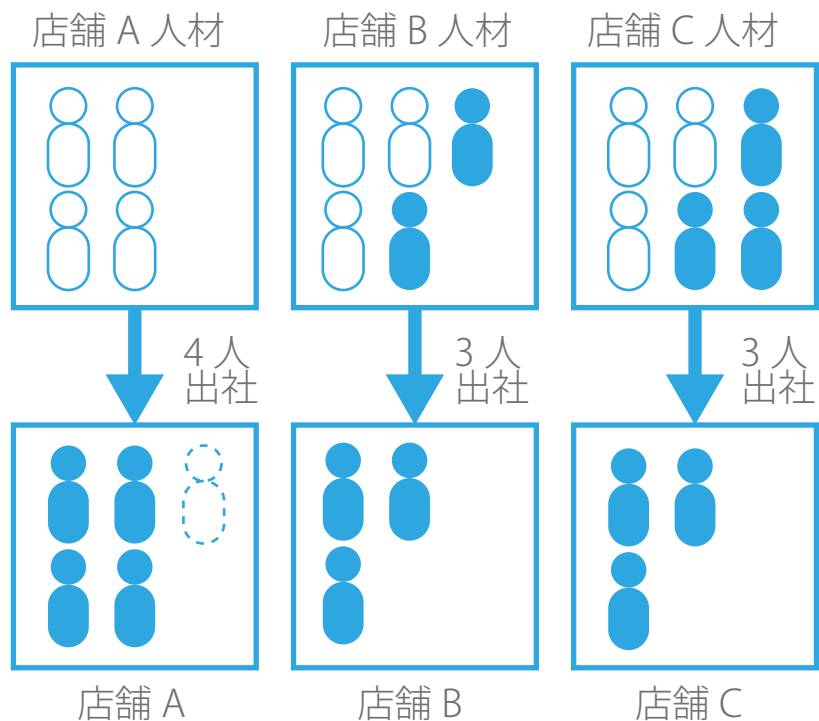
上期を準備期間とし下期より名古屋の店舗運営を 「名駅北」「名駅南」「栄」「金山」の4つのエリア経営に移行



名古屋 100 店舗を達成するため、「採用」「人材配置」「販促」などをエリアで管理。独立採算を徹底し、エリア経営として管理者には大きな権限移譲を実施。

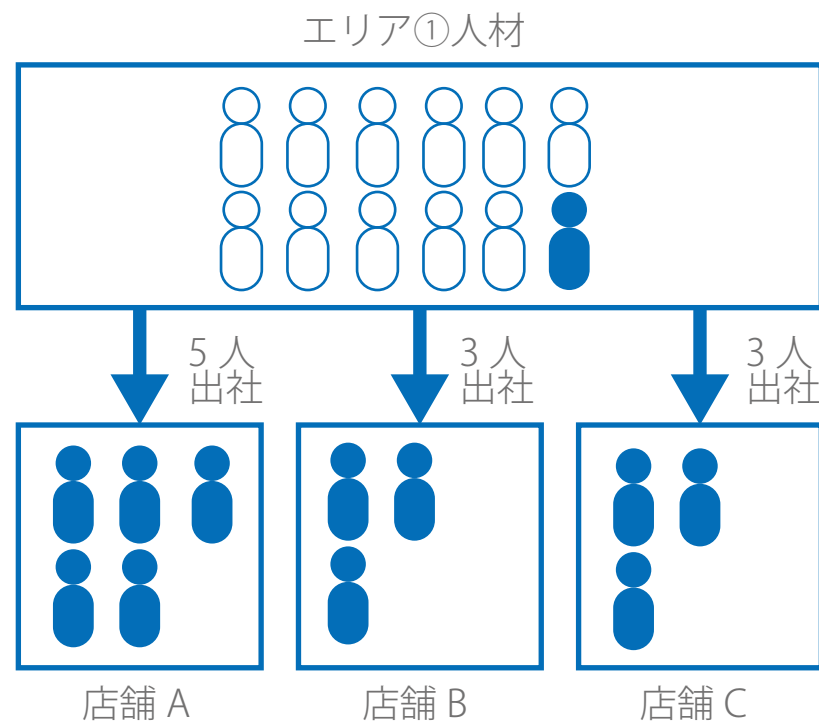
社員・アルバイトをエリア帰属にすることで効率的な配置が可能

現状



人材が各店舗に帰属するため、店舗 B、店舗 C で余剰があっても人員が不足している店舗 A には派遣できない。各店舗で余剰人員の採用費・人件費負担が発生。

エリア経営



エリアで人材管理を行うことで、必要な店舗に必要なだけの人材を配置する効率的な店舗運営が可能となり、採用する人数も抑制することができる。

① 正社員の働き方改革

- 検討中の制度例 -

休日選択制

休日を月に〇日、週休2日、週休3日など様々な選択肢を準備し多様な働き方を提示

エリア限定

勤務地域をエリアで限定し、エリア外への移動がない専任社員を配置

飲食業界の労務改善の先駆けとなるような抜本的な改革へ向けて制度設計を開始。エリア経営への移行とあわせて下期に開始予定。

② アルバイトスタッフの満足度向上

- 仲活&恋活パーティ -



名古屋近郊のアルバイトスタッフを集結させ懇親会を実施。エリア経営へ向けて、店舗の枠を超えてアルバイトが交流できる場を提供。

今後の新規出店・リニューアル予定



3月

はかた中 炊き・焼き餃子
きじょうもん
KIJOMON

3月7日オープン
きじょうもん（新業態・リニューアル）
名古屋市中村区

3月

はかた野菜巻き串・こだわり酎ハイ
きばくもん
KIBAKUMON

3月16日オープン
きばくもん（新業態）
名古屋市中区

4月



4月21日オープン予定
名古屋丸八食堂 豊田店
愛知県豊田市

5月

5月オープン予定
猿 Cafe を進化させた新業態
バルサル 豊橋店（仮称）
愛知県豊橋市

今期の業績見通し



(百万円)

	2017年2月期 通期実績	2018年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	14,357	15,000	104.5
営業利益	53	150	278.1
経常利益	61	130	211.7
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	△83	50	—
配当金	中間 1.5円 期末 1.5円	中間 1.5円 期末 1.5円	

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。